



TOUR NEWS

official Sponsor

official Supplier

Corporate Supporter

Corporate Supporter

UNISYS

ANA

Munsingwear

CENTRAL
CENTRAL SPORTS

●発行● インターネット <http://www.jgto.org/> 携帯サイト <http://mobile.jgto.org/>
社団法人 日本ゴルフツアー機構 〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-5 赤坂アビタシオンビル5F TEL.03-3585-7381 FAX.03-3585-7383

ツアー後半戦の展望

“戦国ツアー”を制するのは誰だ!?

ジャパンゴルフツアーが8月最終週の『VanaH杯KBCオーガスタ』から、後半戦に突入した。今シーズンは前半戦で2勝以上を挙げた選手が不在、いつになく賞金レースは混沌としている。果たして誰が抜け出すのか。海外試合もひと区切りつき、高額賞金が目白押しの後半戦の見どころを探る。

打倒・石川! “アラフォー”世代 が主役の座を狙う

8月22日に終了した『関西オープンゴルフ選手権』で、今季12試合を終えたジャパンゴルフツアー。昨年の同時点では石川遼と藤田寛之が2勝ずつ挙げていたが、今年は“複数優勝者”はなく12人のチャンピオンが誕生した。

その構成を見ると10代(石川遼)、20代(金庚泰、藺田峻輔、池田勇太)、30代(小田孔明、宮本勝昌、兼本貴司、高山忠洋、野仲茂)、40代(藤田寛之、谷口徹、小山内護)と大激戦。内容も初優勝があれば、マンデーからの復活優勝ありと、まさに誰が勝つか分からない“戦国ツアー”の様相だ。

中でも目を惹くのが、賞金ランキング(海外4大メジャーを含む)で1、2位を突っ走る藤田と谷口(8月23日現在)。2人は今季第2戦の『つるやオープン』で3ホールに及ぶプレーオフを戦い、このときは藤田が谷口を一蹴。すると今度は4戦目の『日本プロゴルフ選手権日清カップスノーデル杯』で谷口が藤田を抑えて優勝。2人は優勝スピーチで奇しくも、「まだまだ(石川)遼くんには負けない」と昨年の賞金王に宣戦



藤田寛之

布告をしたのだった。さらに、今季未勝利ながら12試合中ベスト10以内5回で賞金ランキング14位につける40歳の丸山茂樹。38歳の平塚哲二は2位1回、3位2回など10試合中ベスト10以内6回でランキング4位。39歳の兼本と丸山大輔も9位、13位と好調だ。経験豊富な実力者揃いの“アラフォー”世代がツアーを引っ張る。

国内に専念できる 後半戦。 石川、池田が反撃 の狼煙を上げる

昨年4勝を挙げ、賞金王争いを演じた石川と池田。今季、2人は4大メジャーを中心に米国ツアーや欧州ツアーを転戦。毎月、日本と海外を往復するハードスケジュールをこなしてきたが、全米プロが終わって海外遠征もひと区切り。

「メジャーに出場して、さらにモチベーションが上がりました。来年こそは、メジャーで結果を出せる選手になりたい」(石川)

「自分には足りないも



石川 遼

賞金ランキング上位15名

(「関西オープン」終了時点。海外4大メジャー獲得賞金を含む)

順位	選手名	獲得賞金(円)	優勝
1	藤田 寛之 (41)	59,081,396	1
2	谷口 徹 (42)	58,966,443	1
3	金 庚泰 (23)	55,783,064	1
4	平塚 哲二 (38)	44,241,954	0
5	高山 忠洋 (32)	41,342,595	1
6	小田 孔明 (32)	40,402,500	1
7	石川 遼 (18)	40,385,196	1
8	藺田 峻輔 (20)	39,706,000	1
9	兼本 貴司 (39)	37,858,366	1
10	宮本 勝昌 (38)	32,988,700	1
11	池田 勇太 (24)	30,437,789	1
12	小山内 護 (40)	28,695,000	1
13	丸山 大輔 (39)	28,159,950	0
14	丸山 茂樹 (40)	25,267,500	0
15	D・チャンド (38)	23,674,231	0

()は8月28日現在の満年齢

のがまだまだある。メジャーでの経験を活かして、日本でまた頑張る」(池田)

現在、賞金ランク7位の石川と11位の池田が本腰を入れて臨む“秋の陣”。どんな巻き返しを魅せるのか。

若手の注目株は賞金ランク3位の金庚泰と8位の藺田だ。金は全英オープン、全米プロともに48位タイと結果を残し、より一層自信を深めて戻ってきた。藺田も衝撃の

ツアー初優勝以降も2位に2度入るなど好調をキープ。バーディ率5位、イーグル率3位の攻撃ゴルフを武器に2勝目を狙う。

10代からベテランまでが渾然一体となって戦う混戦レースを抜け出すのは誰か。ジャパンゴルフツアーがいよいよ佳境へ入る。

チャレンジトーナメントからの再起！ 史上5人目の マンデートーナメントからのツアー優勝で涙の復活！

2009年賞金ランク91位で、1998年から11年間守り続けた賞金シードを手放した小山内護。2010年ツアーへの出場優先順位を決めるファイナルQTでは、1打足りずに予選通過を逃がし、今季の出場優先順位は104位。自身初めてチャレンジツアーを戦いながら、ツアー出場チャンスがうかがっていた。そして7月、『長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップ』のマンデートーナメントを突破し、本大会に出場。藺田峻輔、趙珉珪とのプレーオフを制し、4年ぶりの復活優勝を成し遂げた。

◆『長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップ』マンデートーナメントからの出場での優勝、涙の復活劇でしたね。

他のマンデーでは落ちていたので、『セガサミーカップ』が今季ツアーの初戦。マンデーを通ったということでモチベーションが高かったし、自力で試合に出たという強い想いがありましたね。

◆ご自身もまさかの優勝だったのでは。

過去に3度トップ10に入っている大会だから、目標は翌週の「サン・クロレラクラシック」に出場できる上位5位以内。でも、JGTOのスタッフとは「マンデーを通ったから優勝しちゃうんじゃない」って冗談を言っていました(笑)。

◆昨年、思うような成績が挙げられなかったのは肘の故障ですか？

オーバーワークが原因。去年の春先にドライバーが合わなくて、週に何本も変えて打っていたから。

◆特別保証制度を適用されませんでした。

怪我をしたのは自分の責任なんだから、申請はしなかった。治ったらまたゼロからスタートすればいい。怪我しても菌を食いしばってもシードを取るっていう意識が大事だと思う。70名のビリでも良いんだから。

◆そしてシード復活。喜びもひとしおでは？

その喜びの重みは全然違う。QTの選手が勝つことはあっても、試合にさえ出られないQTの下部選手が勝つのは珍しいでしょう。海外の招待選手みたいに、1試合だけ来て勝って帰るみたいな(笑)。

◆8月のオープンウィークは肘の為にも良い期間だったのでは。

8月12、13日に行なわれた岩手県オープンに出場しました。出場機会がない時に出場枠をいただいていたので。ありがたいですよ。優勝したからって、そういう試合は絶対に休むわけにはいかない。

◆『セガサミーカップ』の時に、ツアーに出られるありがたみを感じたっておっしゃってましたね。

今もその想いに変わりはないです。それまでは当たり前のように試合に出ていたけ



小山内護

1970年6月生まれ、40歳。1996年プロ転向。ツアー4勝。1999年ワールドカップ個人3位。2000年と2004～2006年ドライビングディスタンス1位。

れど、ツアーに出場するのは相当大変なんだと改めて思いました。ファイナルQTから勝ち上がって来ても、上位40名前後しかツアーには出場できない。その40名だって途中でリランキングがあるし。ツアーに出場できても、スタート時間が朝早かったり、お昼の遅い時間からだったり、良い時間帯では回れない。コンディションも違って行く中で戦うのは難しい。そんな中でシード選手と互角に渡りあって戦う難しさもある。

シード選手から一転、出場機会はチャレンジのみに。身体のケアも朝起きるのも、クラブを運ぶのも、すべて1人で行動

◆今年もチャレンジが主戦場となりました。

開幕戦から7月の『房総カントリーカップ』まですべて出場していますが、チャレンジって全然知らなかった。やっぱりツアーに比べたら華やかさはないかな(笑)。競技的には2日間だし、焦る部分はある。ツアーだとパーセーブしてチャンスがあればバーディ、それを4日間繰り返せば成績は残せるけれど。チャレンジはとにかく攻めないといけないから難しい。

◆身体のケアも大変だと思います。

チャレンジには帯同トレーナーもいない

から、ホテルの簡易なマッサージを受けていたけれど、『セガサミーカップ』の時にトレーナーに体を触らせたから、ツアーとチャレンジの時の体はやっぱり違うらしい。はっきり言って今でもツアーの身体になってない。コンディションがツアーに慣れないと、相当つらい。

◆クラブのセッティングはどうしてましたか。

ツアーだとクラブを20本ぐらいは入れるけれど、チャレンジはセルフプレーだから、きっちり14本。折れたら終わり(笑)。スパイクは白と黒の2足だけ。ボールも3ダースだけ。キャリーケースとかも全て自分で持ち運びをするから、なるべく体力の温存を考えないと。原点だよな。

◆チャレンジでは自分をマネージメントできる力も必要ですね。

帯同キャディもスタッフもないから、ずっと一人で行動。キャディバッグを片付けたり、カート直しもした。極端な話、ツアーだと周りが起こしてくれたりもするけど、寝坊も気をつけなきゃいけないから目覚まし時計を2個かけたり。そっちのプレッシャーのほうがすごかったかも(笑)。

◆最後に、今年で40歳を迎えました。

気持ち的にも20代、30代には負けないうて想いもある。今後の目標は、まだ達成したことがない年間2勝。それができたら、3勝。ツアーで1勝する事も難しいんだから、1試合1試合、大事に行くよ。

◆ありがとうございました。

世界に通用するプロゴルファーを育成するための Handa Cup プロミシングゴルファーズトーナメント ~アンダー30~

30歳以下の若い選手たちに、トーナメントという最高の舞台上で戦ってもらおうと開催された『Handa Cup プロミシングゴルファーズトーナメント~アンダー30~』（主催・一般社団法人国際スポーツ振興協会、特別主管・社団法人日本ゴルフツアー機構、特別協力・社団法人日本プロゴルフ協会）。3日間54ホール戦の戦いは、5人によるプレーオフへもつれ込む大激戦となった。

全国10地区で開催された 予選会

今年、初めて開催された『Handa Cup プロミシングゴルファーズトーナメント~アンダー30~』は、プロとアマチュアの資格を問わず、30歳以下の選手がトーナメントという舞台を経験し、世界に通用するプロゴルファーに成長するきっかけになって欲しいとの想いが込められて生まれた一戦。主催者である一般社団法人国際スポーツ振興協会の半田晴久大会会長は、「若者にとってチャンスと経験値は有益で、自信がつくと優勝できるようにもなる。自信と経験は宝物です」と開催趣旨を説明する。

大会は全国10地区で18ホールストロークプレーによる予選会を実施。昨年のQT受験者やPGAのTPライセンス資格者ほか、実行委員会が認めた研修生やアマチュアなどが参加した。

決勝大会は8月10日から3日間、千葉県成田市のスカイウェイCCで行なわれ、予選会通過者と主催者推薦を合わせた120人が出場。ツアーメンバーの藤島征次、わたり哲也、永野竜太郎、J・チョイなどが初代チャンピオンの座を目指した。

5人によるプレーオフは イーグル決着

優勝争いは6アンダーで首位に立つ藤島征次を1打差で前栗蔵俊太、白石大祐、2打差でJ・チョイ、下向裕也、塚田陽亮が追い、5打差以内に17人がひしめく大混戦となった。しかも台風4号の影響で強風が吹きつけるコンディションに上位陣が軒並みスコアを崩し、一時は1アンダーで7人が

並ぶサバイバル戦となる。

さらに混戦に輪をかけたのが最終18番のパー5。フォローの強風が文字どおり選手たちの追い風となって2オンが続出。バーディはおろか、土壇場のイーグルで優勝の行方が左右される緊迫したシーンが繰り広げられたのだ。

結局、通算2アンダーで山内雅人、石川裕貴、木村彰吾、正岡竜二と藤島の5人が並び、史上まれに見る5人によるプレーオフへもつれ込んだ。

18番ホールを舞台にしたプレーオフ1ホール目、正岡だけが2オ



優勝トロフィーと賞金500万円を獲得した木村（右は半田晴久大会会長）

ンに成功。ピン横5メートルは、本戦で奪った起死回生のイーグルとほぼ同じ位置だ。

一方、プレッシャーのかかるアプローチを強いられる4人。1人また1人とアプローチをミスして脱落していく中、スカイウェイCCがホームコースの木村には、「下りのスライスラインは見えていた」。チップインを狙ったアプローチは、見事、ラインに乗ってイーグル。

これで正岡にプレッシャーがかかったのか。「本戦でも同じ場所からイーグルを決めていたので、必ず入れて来る」と木村が覚悟して見守った正岡のイーグルパットだったが、カップに消えることはなかった。

『SRIXONチャレンジ』の 出場権を獲得

木村は予選会に出場する直前にアイアンセットを一新。今年から施行されているクラブフェースの溝に関する適合クラブを所持していなかったからで、「クラブ購入の出費が大きかったので、少しでも順位を上げて賞金を手にしよう(笑)」とプレーしたという。

普段はミニツアーや研修会の賞金しか手にしたことがない木村にとって、優勝賞金500万円の使い途はすぐには思いつかない。とりあえず、今回の優勝で出場権を獲得したチャレンジトーナメント第9戦『SRIXONチャレンジ』（9月16日~17日、宮城県・東蔵王GC）の遠征費の心配はなくなった。

木村彰吾、28歳。「自分だけの力では勝てなかった」とホームコースの関係者、仲間たちの応援に感謝しながら、次はチャレンジ制覇そしてツアーへと夢を紡ぐ。

「ツアー出場を目指して頑張るプロの姿を見ると、物凄くパワーがもらえます!」

五浦庭園カントリークラブ 代表取締役

取締役支配人

中島 篤志 氏

倉橋 健治 氏



中島 篤志 代表取締役

倉橋 健治 取締役支配人

チャレンジトーナメント最終戦への出場権を賭けた大詰めの一戦『五浦庭園JGTOチャレンジII』が今月の16日と17日の2日間、福島県いわき市の五浦庭園カントリークラブで開催される。選手の持てる力を十二分に引き出すフェアな舞台上、どんな熱戦が繰り広げられるのか。同コースの中島篤志代表取締役と倉橋健治取締役支配人に大会への想いをお聞きした。

◆毎年、ケオリファイングトーナメント(QT)でお世話になっています。

倉橋支配人(以下・倉橋氏) JGTOさんがQTを導入された1999年から、セカンドQTの会場として使っていただいています。

◆今回は、新たにチャレンジトーナメントも開催していただけることになりました。

中島代表取締役(以下・中島氏) 『チャンスがあったら、積極的に競技会を開催しよう』というのが私たちの方針です。JGTOさんのQTを皮切りに、01年には「日本オープン第一次予選会」、03年「東北シニアゴルフ選手権決勝」、昨年は同じく東北ゴルフ連盟主催の「東北倶楽部対抗決勝」の舞台に選んでいただきました。

倉橋氏 開催コースになるとゴルフ場の名前が浸透するばかりでなく、『あのゴルフ場は競技ができるコース』ということでイメージアップに繋がります。他所との差別化を図ることができます。今回、初めてプロの大きな試合を開催しますが、恥ずかしくないコースだと自負しています。

中島氏 社内的にはスタッフ全員のモチベーションが上がります。QTとかチャレンジなどの大きな競技をやらせていただくことで、クラブ全体にスタッフの“気持ち”が入り、それがお客様にも伝わっていくものだと思います。どんなに費用をかけてメンテナンスをしても、スタッフの魂が入っていないコースは魅力に欠けると思います。



好スコアが期待できる五浦庭園CC



「プロは凄い!」と唸らせるハイスコアを期待します

◆どのような特徴のコースですか?

中島氏 全長7,137ヤードと距離がありますが、フェアウェイは広くて見通しが良く、OBが少ないオーソドックスなコースです。グリーンは高麗とベントの2グリーンだったのをベント1グリーンにしましたが、元々あったベントグリーンをそのまま使用しているので、ちょっと小さく感じると思います。

◆飛ばし屋が有利そうですね。

倉橋氏 海まで3、4キロのロケーションにあって海風が多少影響しますが、思い切りティショットを打つことができます。コース管理課長は「ハイスコアを出されると嫌だなあ」と心配しています(笑)。

中島氏 反対に、私は良いスコアを出してもらいたいと思っています(笑)。きっかけがあればツアーで優勝してもおかしくない凄い技術と飛距離を持ったプロが出場するわけですから、「さすがプロは違うなあ。五浦庭園CCであんなスコアを出すんだ」と、メ

ンバーさんや地域のアマチュアゴルファーを驚かせてもらいたいですね。

◆コースレコードは?

倉橋氏 クラブとして正式にコースレコードの記録は取っていませんが、03年のセカンドQT第2ラウンドで神山隆志選手が64をマークしたのがベストスコアです。

中島氏 大会期間中の天候などにもよりますが、2日間で10~12アンダーは出てもおかしくないと思っています。どんなスコアが出るのか、とても楽しみです。

◆チャレンジトーナメントは入場無料で、ローピングの規制もなく、間近で迫力あるプロのプレーを観戦できると好評です。大勢のゴルフファンに観ていただきたいですね。

倉橋氏 昨年12月に『2010年のツアー日程』が発表された時点では、東北地区で開催される唯一の試合だったので、それを謳い文句にして大会の告知をしていました。ところが、今年になって宮

城県でチャレンジトーナメントが2試合行なわれたので、今、謳い文句をどうしようかと…(笑)。プロの試合を直に観るチャンスはそうないと思いますので、地元のジュニアを始め、大勢の方に観戦していただけるようにPRします。

◆クラブハウスにも入れるので、選手の入柄にも触れられるチャンスがあります。

中島氏 今のプロは技術ばかりでなく、社会貢献活動などを通して多方面に影響を及ぼす大きな存在になっています。私の兄弟がプロゴルファーということもあり、プロの世界に特別な思い入れがありますが、選手たちの素顔を知って欲しいですね。

◆チャレンジトーナメントの魅力とは?

中島氏 たとえばツアーで活躍していたプロが、年齢とともに体力的なピークが過ぎて「まだまだ」とチャレンジトーナメントに出て来てツアーへの復活を目指している姿。あるいはダブルボギーを打とうがトリプルボギーを打とうが捨て鉢にならず、「ここから勝負」と頑張る姿…。チャレンジトーナメントにはツアー出場という目標に向かって一生懸命



頑張っているプロの姿があり、それを見て「自分も頑張ろう」と力をもらえるシチュエーションがいっぱいあります。私はそういうチャレンジトーナメントが好きですし、今回、携われることをとても嬉しく思っています。

◆最終戦への切符を賭けた選手たちのプレーを多くのファンに見ていただきたいですね。本日はありがとうございました。

同世代の藪田選手に負けられない！ 小平智選手がチャレンジトーナメント優勝

アマチュア

8月19日～20日の2日間、埼玉県鳩山カントリークラブで行なわれたチャレンジトーナメント第8戦『鳩山カントリークラブ・GMAチャレンジトーナメント』で、アマチュアの小平智選手が並みいるツアープレーヤーを抑えて優勝する快挙を成し遂げた。

また一人、有望な若手選手が誕生した。2009年、2010年と日本ゴルフ協会のナショナルチームメンバーの小平智選手、20歳。

チャレンジトーナメント第8戦『鳩山カントリークラブ・GMAチャレンジトーナメント』初日に1イーグル、6バーディの64で単独首位に立つと、最終日も5アンダーの67をマーク。中田範彦、向井基晴を2打抑えて、通算13アンダーで“完全優勝”を果たした。

アマチュア選手の優勝は、1999年、日本ゴルフツアー機構発足と同時に創設されたチャレンジトーナメントでは史上初の快挙。それ以前には、チャレンジトーナメントの前身であるグローイングツアーにおいて、1993年、当時日本大学3年生だった片山晋呉が『水戸グリーンオープン』に優勝しているだけだ。



小平 智 (こだいら さとし)
1989年9月11日生まれ 東京都出身
日本大学中退。2010年「関東アマチュアゴルフ選手権」優勝、「日本アマチュアゴルフ選手権」ベスト32
「目標は、同世代のローリー・マキロイ選手。歯切れのいいプレーでパーディをたくさん獲るので、そういうゴルフをしたいですね」

の自分のゴルフだと、最終日になるとスコアを伸ばせないことが多かったのですが、QTとか色々な経験を積んできたことが自信になって、最終日に5アンダーとスコアを伸ばせたのだと思います」と胸を張った。

ライバルを追い、 旋風を巻き起こす若年層

2007年、当時高校1年生だった石川遼が『マンシングウェアオープンKSBカップ』に優勝して以来、若年層の旋風が止まない。

今季、ツアーでは小平選手と同じ20歳の藪田峻輔が、プロ転向後わずか5戦目でツアー優勝を果たした。杉並学院高校で石川の2年先輩だった藪田は、「アイツにできるなら、俺にもできる」と刺激を受けて掴んだ優勝だった。プロ8戦目で経験した『全英オープン』。予選落ちした藪田は、決勝ラウンドに進出した石川に、「遼は経験値が

僕より上だし、彼の予選通過が刺激になります。僕が燃えるためのエネルギーになるから、行ける所まで行って欲しい」とエールを送っている。

この“良きライバル関係”は、そのまま小平選手と藪田にも当てはまる。昨年のJGAナショナルチームで藪田と一緒にいた小平選手は言う。

「藪田とは昔から仲が良く、ずっと一緒にやってきました。彼がプロになって、一発でQTに受かって、ツアー5試合目で優勝。すごいなあと思いますが、悔しいですね。負けてられないという感じで、すごく刺激になります。藪田がずっと先に行っちゃっているの、徐々にでも近づきたいです」。

小平選手も藪田に追いつけ、追い越せとばかりにレベルアップを図る。

今大会は、今年初めて出場したプロの試合。「プロは小技が違うなど実感しました。バター、アプローチをもっと勉強しないと...」。1イーグル、12バーディ、1ボギーと完璧なゴルフを展開しながらも、小平選手はプロの巧みな技、引き出しの多さ、状況判断などに驚嘆。プロの技をしっかりと目に焼き付けたのだった。

課題に取り組みながら、藪田の背中を追う小平選手の今後が注目される。



「上がりの3ホールはさすがに緊張しました。最終ホールのスコアボードで、自分がリードしていることは知りましたが、余裕なんてなかったです。とにかく目の前のパットに集中することだけを考えました」。

今シーズンは6月の『関東アマチュアゴルフ選手権』に優勝したほか、8月3日から行なわれた『ファーストQT』でも2位に5打差をつけるぶっち切りで、堂々の1位通過を果たすなど調子は上々だった。

「これまでで最高のゴルフでした。今まで

「ルールこぼれ話」

トーナメントには競技委員がいて、処置方法などを尋ねることができますが、通常はプレーヤー自身がレフリーであり、自分の判断で処置しなければなりません。その場合、用語の定義が解決の糸口になる場合があります。今号を参考にしてください。

ダイヤモンドカップゴルフ

木に引っかかった球が見つからず、諦めかけたときに木の上から落ちてきた。球を捜し始めてから5分以内だった。

【状況】 4日目、6番ホール(パー4)。ティーショットを林に打ち込み、2打地点に行ったものの球が見つからない。プレーヤーは諦めて、打ち直してティーインググラウンドに戻りかけたとき、風の影響で、木の上にあった球が落ちてきた。

【裁定】 落ちてきた球はプレーヤーの球に間違いないので、競技委員は同伴競技者らに『球を捜し始めてからの時間』を確認したところ「5分以内」だったので、その球をプレーすることを認めました。

ジャッジのポイントは「5分以内」かどうかです。よく「紛失球を宣言した」あるいは「打ち直しに戻りかけた(あるいは戻った)」ことを指摘することがありますが、紛失球とは関係ありません。5分以内に自分の球が見つければプレー続行、球が見つからない、あるいは5分過ぎてから見つかった場合は紛失球となり、プレーすることはできません。もし、その球をプレーしてしまうと、誤球のプレーとなります。気をつけましょう。

【適用条項】 定義33「紛失球」

日本ゴルフツアー選手権 Citibank Cup 穴戸ヒルズ

ラテラル・ウォーターハザードの救済を受けてプレーしようとしたところ、スタンスが赤のラインにかかった。

【状況】 4日目、4番ホール(パー4)。セカンドショットがグリーン左サイドのラテラル・ウォーターハザードに入った。規則にしたがって救済を受けてドロップした球をストロークしようとしたところ、スタンスが赤のラインにかかった。再ドロップかどうか、競技委員が要請された。

【裁定】 競技委員は、ドロップした球をあるがままの状態ですトロークすることを伝えました。規則では「再ドロップを要する場合」について定めていますが、上記のケースはどの項目にも当てはまりません。

恐らく、プレーヤーは「修理地やカジュアルウォーターといった異常なグラウンド状態」あるいは「動かせない障害物」からの救済を受けた場合と混同したものと思われます。これらのケースで救済を受けたときは、スタンスや意図するスイングもその障害を避けた箇所でない、再ドロップしなければいけないからです。

【適用条項】 規則20-2c「再ドロップを要する場合」

バンカーからプレーする前に、同じバンカー内で、球から離れていた箇所をキャディーがならしてしまった。

【状況】 2日目、18番ホール(パー4)。グリーン奥のバンカーからプレーする前に、プレーヤーのキャディーが球から離れてはいたが、同じバンカー内の砂をならしてしまった。

【裁定】 競技委員がキャディーに確かめたところ、砂をならしたことが事実だったので、プレーヤーに2打罰を伝えました。バンカーやウォーターハザードにある球をストロークする前に、①そのハザードや他の同じようなハザードの状態をテストすること、②そのハザード内の地面やウォーターハザード内の水に自分の手やクラブで触れること、③そのハザード内にあるか、ハザードに触れているルースインペディメントに触れたり動かす、と2打罰です。キャディーの行為は砂の状態をテストしたものとみなされました。

【適用条項】 規則13-4「球がハザード内にある場合：禁止行為」

東北やくらいカップ

球がラテラル・ウォーターハザードに架かっている橋の上に止まった。

【状況】 1日目、3番ホール(パー4)。ティーショットがラテラル・ウォーターハザードに架かっている橋の上に止まった。橋からの救済を受けられないか、競技委員が要請された。

【裁定】 競技委員は、橋は動かせない障害物だが救済は受けられないことを伝え、プレーヤーはその状態のままプレーを続けました。ラテラル・ウォーターハザードの限界は垂直上下に及ぶため、その球はラテラル・ウォーターハザード内です。規則24-2注1に「球がウォーターハザード(ラテラル・ウォーターハザード)内にある場合、プレーヤーは動かせない障害物からの救済を受けることはできない。プレーヤーは球をあるがままの状態ですプレーするか、規則26-1(ウォーターハザードに入った球の救済)によって処置しなければならない」とあります。

ただし、橋の上の道路面は「ハザード内の地面」ではないので、橋の上にクラブをソールしても違反にはなりません(規則13-4注)。

【適用条項】 定義29「ラテラル・ウォーターハザード」、規則24-2注1「動かせない障害物」

◎ 広報室

意地を見せた宮本勝昌。 『WGC-ブリヂストン招待』で「62」の猛チャージ

8月5日から4日間、オハイオ州アクロンのファイアストーンCC南コースで行なわれた『WGC-ブリヂストン招待』。日本からは「09年プレジデントカップ」出場の石川遼、「09年ブリヂストンオープン」優勝の池田勇太に加え、今年の「日本ゴルフツアー選手権 Citibank Cup Shishido Hills」優勝の宮本勝昌が出場。

初日からスコアを伸ばす世界のトップランカーたちとは対照的に、日本勢は苦戦。そんな中、「2日目を終えて3オーバーと予選落ちの数字だったけれど、予選カットがない大会でラッキー」とほくそえんだのが宮本。3日目、T・ウッズのコースレコードにあと1ストロークと迫る1イーグル、7バーディ、1ボギーの「62」をマーク。首位と4打差の10位タイに急浮上したのだ。ハーフ「29」は大会レコードタイ、インコースに限っていえば大会レコードと、今年の“ジャパンゴルフツアーNo.1プレーヤー”の意地を見せつけた。

結局、宮本は4日間通算オープンパーの280ストロークで33位タイに終わったが、「世界のトップクラスの選手が集まっている大会でプレーできたことが本当に嬉しかった。今後は、日本のトーナメントが第一優先だけでも、チャンスがあればアメリカにもスポット参戦したい」と新たな意欲を示した。他に石川は4オーバーの53位タイ、池田は10オーバーで69位タイに終わった。なお、優勝は最終日に64をマークしたH・メイハンが通算12アンダーでツアー3勝目を挙げた。

翌週、ウィスコンシン州のウィスリング・ストレイツで開催された『全米プロゴルフ選手権』には石川、池田のほか藤田寛之、小田孔明、平塚哲二の日本選手に加えて金庚泰、盧承烈、W・リャン、T・ジェイディのジャパンゴルフツアーメンバーが参戦。3日目にコースレコードの「64」をマークしたW・リャンが4日間通算8アンダーの280ストロークで8位タイに入ったほか、盧承烈が2アンダーの28位タイ、金庚泰は1オーバーの48位タイで4日間の戦いを終えた。5人が参戦した日本勢だったが、5選手とも残念ながら1オーバーの予選カットラインをクリアできなかった。優勝はプレーオフの末、ドイツのM・カイマーが地元アメリカのB・ワトソンを下して初優勝を飾った。

恒例の施設訪問。今年は宮里優作、額賀辰徳、藪田峻輔が参加

毎年、『サン・クロレクラシック』の開催週に行なわれている施設訪問は、主催者の北海道放送株式会社と特別協賛社の株式会社サン・クロレラのご協力をいただき、ジャパンゴルフツアー選手会が中心になって行なっている慣例行事だ。

今年は宮里優作、額賀辰徳、藪田峻輔の3選手が、小樽市内にある障害者施設「社会福祉法人小樽四ツ葉学園」を訪問。施設の皆さんの大拍手に迎えられ、緊張した面持ちで会場の体育館に入場した3選手だったが、挨拶後に行なわれたフライングディスク(フリスビー)を使ったゲームが始まると、その表情も和らいだ。

6~7メートル離れた場所から、直径約1メートルの輪の中にフリスビーを通すゲームだが、これがなかなか上手くない。対する四ツ葉学園には10投してパーフェクトという達人もいて、これには3選手とも「おっ、スゲー！」と脱帽。

「みんなフライングディスクが上手くてビックリ。ゴルフのときより



楽しいひと時に笑顔が絶えない3選手



も今回のフライングディスクのほうが緊張しました」(藪田)。

「初めての施設訪問でしたが、すごく楽しかったし、何より施設の皆さんがとても明るくて、元気をもらえた気がします」(額賀)。

「フライングディスクよりゴルフのほうが易しく感じました(笑)。四ツ葉学園の皆さんからもらったパワーを力に変えて、これからも頑張りたいと思います」(宮里)。

ゲーム後にはサイン会も行ない、およそ1時間の訪問を終えた3選手は、名残惜しそうに会場を後にした。

「スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ」出身選手が、 全国中学校ゴルフ選手権で活躍!

2005年の『第3回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会』に出場した金澤志奈さん(当時笠間市立北川根小学校4年生、現在は友部第二中学校3年生)が、今年の「第54回全国中学校ゴルフ選手権」女子の部で3位に入る活躍をみせた。

金澤さんは小学校5年時にはスナッグゴルフを卒業して、JGTOが開催した「第1回小学生ゴルフ体験会」にも参加。友部第二中学校に進学後もゴルフの練習を積み重ね、今年の「第3回茨城県ジュニアオープンゴルフ選手権」中学女子の部では優勝を果たしている。

男子の部でも、金澤さんと同じく友部第二中学校3年生の大貫渉太朗くんが28位と健闘。大貫くんも北川根小学校4年生当時に『第3回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会』に出場し、翌年は「第1回小学生ゴルフ体験会」に出場した経歴の持ち主。

今後、「スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ」「小学生ゴルフ体験会」の卒業生たちが、どんな活躍を見せてくれるか楽しみだ。



活躍する金澤志奈さん

「スナッグゴルフ支援自動販売機」が香川県でもスタート

小学校へのスナッグゴルフ寄贈のための基金を集めることを目的に、昨年3月、広島県でスタートを切った「スナッグゴルフ支援自動販売機」の取り組み。これはコカ・コーラウエスト(株)が設置した自販機でドリンクを購入すると、その一部が地元のジュニアゴルフ振興会を通じて基金として集められ、小学校へのスナッグゴルフの導入と実技講習が行われるという仕組み。現在、広島県では40台が設置され、この基金で既に2校にスナッグゴルフ用具が導入されている。

今回、この取り組みが瀬戸内海を渡って香川県でもスタート。記念すべき第一号機が設置されたのはゴルフメーカーのキャスコ株式会社の本社ロビー。8月4日に行なわれたお披露目式には、さぬき市の大山茂樹市長も出席され、「ゴルフは審判員を伴わない紳士淑女のスポーツ。思い通りにならない我慢や相手を思いやる気持ちが、日常生活でも役に立つ」と挨拶。式典後には、さぬき市立志度小学校6年生の6名がスナッグゴルフ体験会に参加した。



香川県に設置された第一号機

今月のトーナメント



フジサンケイクラシック

開催日 9月2日～5日
コース 富士桜CC (山梨県)
賞金総額 110,000,000円
優勝賞金 22,000,000円
09年優勝者 石川 遼
アクセス 自動車：中央自動車道河口湖ICから約6キロ。

電車：富士急行線河口湖駅下車。無料バスを運行。

入場券

【前売券】
 各日通用4枚つづり 8,000円
 富士桜CC優待プレー特典付
【当日券】
 予選ラウンド 各日 2,500円
 第3ラウンド 3,000円
 最終ラウンド 4,000円

※同伴者のいる高校生以下は入場無料

※プロアマトーナメントの公開はありません

テレビ放送(予定)

9月4日 14:40～15:55
 9月5日 13:30～15:00
 フジテレビ系列

<http://www.fujisankei-g.co.jp/fsc/>



ANAオープン

開催日 9月16日～19日
コース 札幌GC輪厚C (北海道)
賞金総額 110,000,000円
優勝賞金 22,000,000円
09年優勝者 谷口 徹
アクセス 電車：JR千歳線北広島駅、または市営地下鉄東豊線

福住駅下車。無料バスを運行。自動車：道央自動車道北広島ICまたは輪厚スマートIC利用。ギャラリー駐車場あり。

※公共交通機関をご利用ください。

入場券

【前売券】
 7枚つづり 10,000円
 各日共通券4枚、アマプロ大会観戦券、オリジナルグッズ引換券、札幌GC平日優待券付

【当日券】

アマプロ(9月15日) 2,000円
 予選ラウンド 各日 2,500円
 決勝ラウンド 各日 4,000円
 ※65歳以上、18歳以下は入場無料

テレビ放送(予定)

9月18日 16:00～16:55
 9月19日 15:00～16:25
 日本テレビ系列

<http://www.ana.co.jp/anaopen/>



アジアパシフィック パナソニックオープン

開催日 9月23日～26日
コース 六甲国際GC東C (兵庫県)
賞金総額 150,000,000円
優勝賞金 30,000,000円
09年優勝者 丸山大輔
アクセス 電車：神戸電鉄粟生

線木津駅、または神戸電鉄有馬線谷上駅下車。無料バスを運行。自動車：山陽自動車道神戸西ICを下車。ギャラリー駐車場から無料バスを運行。

※公共交通機関をご利用ください。

入場券

【前売券】
 各日共通券4枚つづり 10,000円

【当日券】

予選ラウンド 各日 3,000円
 決勝ラウンド 各日 4,000円
 ※高校生以下は入場無料

テレビ放送(予定)

9月25日 14:00～15:24
 9月26日 15:30～16:54
 TBS系列

<http://www.panasonic-open.com/>



コカ・コーラ東海クラシック

開催日 9月30日～10月3日
コース 三好CC西C (愛知県)
賞金総額 120,000,000円
優勝賞金 24,000,000円
09年優勝者 石川 遼

アクセス 電車：名鉄豊田線黒笹駅、または地下鉄東山線星ヶ丘駅下車。無料バスを運行。※公共交通機関をご利用ください。

入場券

【前売券】
 各日共通券4枚つづり 10,000円

【当日券】

予選ラウンド 各日 3,000円
 決勝ラウンド 各日 5,000円
 ※高校生以下は入場無料

テレビ放送(予定)

10月3日 16:05～17:35
 フジテレビ系列

<http://www.tokai-tv.com/cocacola/>

今月のチャレンジトーナメント

チャレンジトーナメントは全11試合観戦無料!

SRIXONチャレンジ

開催日 9月9日～10日
コース 東蔵王GC (宮城県)
賞金総額 10,000,000円
優勝賞金 1,800,000円
09年優勝者 森田 徹
アクセス 山形自動車道宮城川崎ICから8分
 ●<http://www.higashizao.jp/>

五浦庭園JGTOチャレンジII

開催日 9月16日～17日
コース 五浦庭園CC (福島県)
賞金総額 10,000,000円
優勝賞金 1,800,000円
09年優勝者 高山準平
アクセス 常磐自動車道いわき勿来ICから10分
 ●<http://www.ituura-teien.co.jp/>